再評価結果（平成２０年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保　修

事業名	一般国道４７２号正間（まさま）～茗ケ島（みょうがしま）道路	事業区分	一般国道	事業主体	富山県
起終点	富山県富山市八尾町正間（とやましやつおまちまさま）　～　富山県富山市八尾町茗ケ島（とやましやつおまちみょうがしま）			延長	２．６km

事業概要　一般国道472号は、富山県射水市を起点とし、富山市八尾町を経由して岐阜県に至る約182kmの幹線道路である。このうち、正間～茗ケ島道路は、道路幅員が3.9mの１車線道路で異常気象時通行規制区間となっており、道路幅員9.5(6.5) mの現道拡幅及びバイパス整備L=2.6kmを行う。

Ｈ5年度事業化	Ｈ　年度都市計画決定 （Ｈ　　年度変更）	Ｈ5年度用地着手	Ｈ5年度工事着手

全体事業費	４９億円	事業進捗率	41.8%	供用済延長	1.2km
計画交通量	1,200台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ (事業全体)　１．２ (残事業)　１．６	総費用　(残事業)/(事業全体) 23/　49億円 事　業　費：22/46億円 維持管理費：1/3億円	総便益　(残事業)/(事業全体) 36/　59億円 走行時間短縮便益：35/　57億円 走行経費減少便益：0.9/ 1.5億円 交通事故減少便益：0.0/ 0.0億円	基準年 平成19年

感度分析の結果
〇交通量変動　：1.3（-10%）～1.6（+10%）　〇事業費変動：1.3（+10%）～1.7（-10%）
〇事業期間変動：1.4（+2年）～1.6（-2年）　〇割引率変動：1.2（+1%）　～1.8（-1%）

事業の効果等
渋滞損失時間約14万人・時間／年の改善が見込まれるほか、大型車すれ違い解消で交通の円滑化を図る。また、岐阜県及び南砺市利賀村の連携を強化し、自然災害時の利賀村の孤立化を防ぐ。

関係する地方公共団体等の意見
・国道472号整備促進既成同盟会が設置されている。
・また、毎年、富山市等より事業促進の要望書が提出されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
・市町村合併により八尾町から富山市に合併。

事業の進捗状況、残事業の内容等
・事業区間2.6kmのうち、現道拡幅部の1.2km区間は整備済みであり、1.4kmが未整備である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
・現道部の拡幅工事を優先したため、用地取得や支障物件補償に時間を要したため遅れた。
・残事業は山林部のバイパス区間であり、事業の支障は少なく順調に進められる。

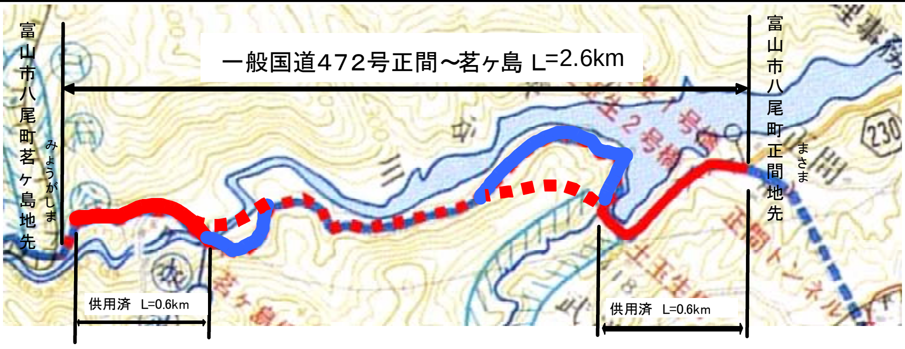
施設の構造や工法の変更等
・工事発生残土の抑制、活用に努めている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由
残事業区間は阻害要素が少なく、事業が順調に進捗できる。

事業概要図

供用済
事業中



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。